はじめに

韓国語を学ぶ人の多くが望むのは、韓国語を聞いて理解できるようになること、韓国語での会話です。聞いて、話して、相手とコミュニケーションをとりたいという希望を胸に韓国語という言葉の門をたたきます。

韓国語は、そんな人たちに門の扉を広く開けて待っています。日本語を 知っている人ならば、その扉はより広く開かれています。では、どのように 大きく開かれているでしょうか?

大きく開かれている韓国語の扉

まず、次の韓国語と日本語を見てみましょう。

韓国語を学べば世界がぱっと開けます。

한국어를 배우면 세계가 확 열려요.

ハーングゴルル ペ ヴミョン セ ゲ ガ クァヶ ヨルリョ ヨ

1. 日本語と語順が同じ

英語を勉強するときに、言葉の順番で悩んだり混乱したことはありませんか? 日本語と韓国語は言葉を並べる順番が同じです。

韓国語	を	学べ	ば	世界	が	ぱっと	開け	ます。
한국어	를	배우	면	세계	가	확	열려	요.

2. 日本語のように「てにをは言葉」がある

韓国語には日本語の「~は」「~を」「~が」「~に」のような「てにをは言葉(助詞と言います)」もあります。日本語では「私は」「私を」「私が」「私に」など、用途に応じて助詞をつけわけますね。韓国語もまったく同じです。次のように枠で囲んだ部分が助詞です。

韓国語を学べば世界がぱっと開けます。한국어를배우면세계가확열려요.

3. 漢字語が同じ

外国語で最後にものをいうのは、やはり単語です。どれだけ単語を知っているかがキーポイントになります。

日本語と同じように韓国語でも単語の種類は大きく3つに分けられます。元からある「固有語」、英語をはじめとする外国語由来の「外来語」、 そして「漢字語」です。

例えば「**한국어**」は「**韓国語**」、「**세계**」は「**世界**」という漢字語をハングルで表したものです。

韓国語を学べば世界がぱっと開けます。한국어를배우면세계가확열려요.

漢字語は、皆さんの韓国語の単語量を飛躍的に伸ばす魔法の杖になるはずです。日本と韓国は長い歴史の中で、多くの漢字語を共有することになりました。日本でも韓国でも、国語辞典に収録されている言葉の少なくとも半数は漢字語です。ですから皆さんは、あと一歩で韓国語になる数千、数万の韓国語の種を持っているのです。なぜなら日本語で使っている漢字語がほとんどそのまま韓国語でも通用するからです。これは韓国語を学ぶときに、大きなアドバンテージになります。



4. 言葉を変形させるパターンが同じ

日本語の「行く」という言葉は、そのままでは使いませんね。「行かっない」「行きーます」「行けーば」のように変形させます。「行く」という素材を「行か」「行き」「行け」のように変形させた形を日本語では「活用形」と呼んでいますね。そして「ーない」「ーます」「ーば」の部分を「語尾」といいます。次のように網掛けしてある部分は語尾です。

韓国語	を 学べ	ば	世界	が	ぱっと	開け	ます。
한국어 분	를 배우	면	세계	가	확	열려	요.

語尾は動詞や形容詞 (用言) を様々に使い分けるための部品です。日本語と韓国語には同じような語尾がやはり同じように存在します。

ここで重要なのは、どの「活用形」にどの「語尾」がつくのかは決まっている、ということです。「-ます」という語尾は、「行き」という活用形にだけつくのです。

韓国語もこのパターンはまったく同じです。日本語と違うのは、活用形がシンプルな点です。日本語には少なくとも6つの活用形があるのに対して、韓国語には3つしかありません。素材を3枚におろして、用途とお好みに合わせて味つけをするという、お料理みたいなお話ですが、3つの型のどれに語尾を付けるかを覚えれば、後が楽なだけでなく、間違いのない韓国語を覚えることができるのです。

こんなにまで日本語を知っている人に扉を大きく開けて待っている韓国語ですが、最初に準備してほしいことが1つだけあります。

最初の一歩は 「ハングル」

▶「ハングル」の読み方が会話の第一歩

「語順」「てにをは言葉」「漢字語」「変形のパターン」、こんなにまで日本語と似ている韓国語ですが、文字で文を書くときは原則としてすべてをハングルという文字で書き表します。マルやシカクや棒を組み合わせたように見える文字です。固有語や外来語、「てにをは言葉」はもちろん、漢字語もハングルで書きます。

▶会話ができるようになるには

会話には、単語、単語をくっつけるための「てにをは言葉」、素材を変形させる語尾が必要ですが、これをすべて耳で聞いただけで覚えるのは赤ちゃんでもないかぎり至難の業です。やはり、文字が必要になるでしょう。目から覚えた言葉を耳で聞いて、口から出すという、言葉を習得するサイクルが出来上がっているのです。逆から言えば、ハングルを読めるようになると、会話も上手になります。ハングルは音を表すために作られている記号ですから、間違わずに読めれば、発音もブレがなくなって上手になりますし、聞き取る力もつきます。

本書では、日本語を知っている方がご自分で韓国語の基礎を身に付けられるように、韓国語を読んで、書いて、CDを聞いて、言ってみるという練習をたくさん取り揃えてあります。

しっかりした幹と根っこがあってこその枝や葉っぱや花や果実です。この本で韓国語の大木を育ててください。韓国語という大木を育てる土壌は皆さんが知っている日本語、木の苗を植える道具はハングルという文字です。皆さんの韓国語が大きく育つことを、この本はお手伝いします。



